

学位論文審査の結果及び最終試験の結果の要旨

学位申請者氏名	石岡 康明		
学 位 論 文 名	頸動脈石灰化と歯周病の関連についての横断研究 (Cross-sectional study on the relationship between carotid artery calcification and periodontal disease)		
論文審査委員	主査：	松本歯科大学 教授	芳澤 享子 (印)
	副査：	松本歯科大学 教授	澁谷 徹 (印)
	副査：	松本歯科大学 准教授	小出 雅則 (印)
	副査：		(印)
	副査：		(印)
	副査：		(印)
最 終 試 験	実施年月日	2020 年 1 月 10 日	
	試験方法	(口答) ・ 筆答	
学位論文の要旨			
<p>【目的】本論文はコンピューター断層撮影法 (CT) 画像から判定される頸動脈分岐部石灰化の有無とパノラマエックス線画像による歯槽骨吸収率、現在指数および全身疾患との関係を明らかにすることを目的とし、さらに歯槽骨吸収率から頸動脈石灰化の予知も検討した。</p> <p>【対象と方法】松本歯科大学病院を受診した 295 名を対象者とし、CT 画像所見から頸動脈石灰化群 (C 群) と頸動脈非石灰化群 (NC 群) の 2 群に分け、統計学的に分析を行った。【結果】C 群では有意に年齢が高く、高血圧症および骨粗鬆症が多く、現在歯数が少なく、歯槽骨吸収率が高かった。多変量解析においては、歯槽骨吸収率が頸動脈石灰化と有意に関連していた。また、ROC 解析より、歯槽骨吸収率測定によって頸動脈石灰化を高い感度で予測できる可能性が示唆された。【考察】今後は新たなスクリーニング指標としてパノラマエックス線画像から歯槽骨吸収率を簡便に計測できるツールの開発を行い、さらなる検討をすすめ、歯科医院でのツール実用化にむけて医科との連携システム構築の一助をめざす。【結論】頸動脈石灰化の有無は年齢、歯数、高血圧、歯槽骨吸収率と関連することが判明した。また、歯槽骨吸収率は、頸動脈石灰化のスクリーニング指標として有用である可能性が示された。</p>			
学位論文審査結果の要旨			
<p>本研究の目的、論点は大変明確であり、研究結果およびそれらから導きだされた考察、結論も明確である。本研究に用いられた方法は有効かつ適切であり、全体を通して整合性がとられており、論理的に問題はない。</p> <p>広い年齢層の 295 名という多数の対象者に対して行われた研究であり、CT 画像から頸動脈石灰化を撮影しており信頼性が高く、研究データは適切に統計学的処理がもちいられており実証性も問題はない。パノラマエックス線写真での歯槽骨吸収と頸動脈石灰化の関連性を示したことに新規性を認める。</p> <p>論文全体を通し構成上バランスがとれており、引用文献も適切であり、今後の臨床的発展性に富む論文と判断される。</p> <p>以上より、本論文が博士 (歯学) の学位論文に値すると評価した。</p>			
最終試験結果の要旨			

(様式第 13 号)

申請者の学位申請論文において、研究に関する基礎知識、論文の内容に関わる事柄および研究成果の今後の発展などについて、口頭による試験を行った。

質問事項は次のとおりである。

- 1) アテローム性動脈硬化における頸動脈石灰化の機序、病態、石灰化が動脈硬化に及ぼす影響について、全身的な動脈硬化症との関連性、歯周病と動脈硬化との関連性について
- 2) 歯周疾患において歯槽骨吸収率と現在指数はどのようなことを示すのか
- 3) 歯周疾患が影響を及ぼす他の全身疾患とその機序について
- 4) 頸動脈石灰化と歯槽骨吸収率に対する年齢因子の独立性について
- 5) ROC 解析とその結果について

以上の質問事項に対して、文献的知識を踏まえて適切な回答があった。さらに、本論文の結果より導きだされた新しい知見に関する説明および本研究の臨床的発展性に関する説明より、博士課程修了者としての見識を有していると判断した。

以上より、本審査会は本申請者が博士（歯学）として十分な学力および見識をゆうするものと認定し、最終試験を合格と判定した。

判 定 結 果	<input checked="" type="radio"/> 合格	<input type="radio"/> 不合格
---------	-------------------------------------	---------------------------

備考

- 1 学位論文名が外国語で表示されている場合には、日本語訳を（ ）を付して記入すること。
- 2 学位論文名が日本語で表示されている場合には、英語訳を（ ）を付して記入すること。
- 3 論文審査委員名の前に、所属機関・職名を記入すること。